

平成 30 年 3 月 31 日

実施中の研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：生活習慣病発症要因解明のための職域における分子疫学コホート研究

本研究は藤田保健衛生大学のヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

(1) 中部地方の自治体に 2013 年 5 月に在籍していた職員・元職員で名古屋大学が主任研究施設として実施している職域における分子疫学コホート研究にご協力頂いている方

(2) 平成 30 年 5 月に中部地方の某自治体に在籍する男女職員のうち名古屋大学が実施する生活習慣病発症要因解明のための職域における分子疫学コホート研究への参加について書面で協力の意思をお伝え頂いた方

2. 研究目的・方法・研究期間

同じような生活習慣や生活環境にある人の間でも病気の罹りやすさには個人差があることから、生活習慣や生活環境と生まれながらの体質（遺伝因子）の両方に注目しながら、それらが生活習慣病にどのような影響をあたえているのかを解明していくことは、体質にあわせた生活習慣病予防法を進展させるために大変重要です。

この研究の目的は、皆様からいただいた生活習慣等に関するアンケート情報・健診情報・遺伝子解析結果・追跡情報、居住地近隣の地理的情報などを活用した医学的研究をおこない、皆様の健康管理に役立つ情報を得るとともに、我が国の循環器疾患やがん、その他の生活習慣病の予防や治療に役立てることです。

病気と生活習慣や検査結果との関係をより明らかにしていくためには、追跡調査を実施して、入院を要する病気になられたかどうか、病院へ定期的に通っていらっしゃるかどうかを把握することが極めて重要です。その一方策として、病歴に関する調査を定期的の実施してきており、今後も継続いたします。また、経年的健診成績の把握、職域健康管理部門における採録を行い、さらに、がん登録や人口動態死因照合による追跡調査も実施する予定です。追跡調査は退職後も実施し、最終的な追跡期間は、ベースラインから 20 年間を予定しています。

また、生活習慣の追跡調査、血液等の再収集を行い、生活習慣の変化やバイオマーカーの変化を把握し、それら相互、さらには疾病発症との関連を明らかにしていくことも、より有効な予防プログラム作成に必要であると考えられます。

名古屋大学と藤田保健衛生大学の共同研究では、健診時保存血液から抽出した DNA の分析（エピゲノム分析を含む）、生活習慣や生活習慣病との関連性について統計解析を行います。

研究期間：平成 26 年 4 月 21 日～平成 35 年 3 月 31 日（更新の予定あり）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生活習慣アンケート回答、健診成績、病歴、既に測定済みのバイオマーカー濃度等

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

本学から外部への提供はありません。

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田保健衛生大学 医学部 公衆衛生学 教授 八谷 寛

共同研究代表者：

名古屋大学 国際保健医療学・公衆衛生学 教授 青山温子

共同研究機関：

国立長寿医療研究センター、中京大学

6. 照会、除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の共同研究事務局までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら共同研究事務局または本学の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

共同研究事務局

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学

教授・青山 温子

名古屋市昭和区鶴舞町 65 医系研究棟 2 号館 7 階

電話 052-744-2128

FAX 052-744-2131

e-mail p-health@med.nagoya-u.ac.jp

本学の連絡先

藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学

担当者：八谷 寛（教授）

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2453

e-mail: yatsuya@fujita-hu.ac.jp